

平成19年度 大学院人文科学府博士後期課程（第2期）編入学試験問題
 (言語学)

解答は解答用紙に書くこと。その際、問1-1などと記し、どの問いに対する解答かを明示すること。

問1.

次のロシア語のデータを見て、問いに答えなさい。表記は、簡略音声表記に近い表記である。šは無声の後部歯茎摩擦音、çは無声の後部歯茎破擦音を表わす。アポストロフ（'）は、直前の子音が口蓋化していることを表わす。不定形及び1人称現在形は、一部のデータを省略している。

不定形 1人称現在形	男性過去形	女性過去形	中性過去形	複数過去形	意味
pisat'	pisal	pisala	pisalo	pisali	書く
viset'	visel	visela	viselo	viseli	
					ぶら下がっている
govorit'	govoril	govorila	govorilo	govorili	話す
čitat'	čital	čitala	čitalo	čitali	読む
smotret'	smotrel	smotrela	smotrelo	smotreli	見る
grebu	grep	grebla	greblo	grebli	漕ぐ
skrebu	skrep	skrebla	skreblo	skrebli	ひっかく
nesu	nes	nesla	neslo	nesli	運ぶ
pasu	pas	pasla	paslo	pasli	放牧する
lezu	les	lezla	lezlo	lezli	這上がる
metu	mel	mela	melo	meli	掃く
pletu	plel	plela	plelo	pleli	編む
obretu	obrel	obrela	obrelo	obreli	見出す
bredu	brél	bre-la	bre-lo	bre-li	やっと歩く
kradu	kral	krala	kralo	krali	盗む
peku	pek	pekla	peklo	pekli	焼く
seku	sek	sekla	seklo	sekli	鞭打つ
mogu	mok	mogla	moglo	mogli	できる
beregu	berek	beregla	bereglo	beregli	保存する

問 1 - 1.

男性過去形、女性過去形、中性過去形、複数過去形のそれぞれの語尾の基底形は何か？

問 1 - 2.

男性過去形の派生においては、無声化に関わる規則が 1 つ、子音の消去に関わる規則が 2 つ仮定できる。これら 3 つの規則を示しなさい。A → B / C ___ D と行った形式で書いてもよいし、文章で書いてもよい。

問 1 - 3.

例えば、čitat' の基底形は /čita-t'/、mogu の基底形は /mog-u/ と仮定できる。では、metu, mel の基底形はどうなるか、それぞれ示しなさい。

問 2.

次の文章は、ある講演の要旨である。これを読み、以下の 2 つの設問に答えなさい。

ウェブ公開版では著作権上の問題により、問題文原文を削除した。

問題文は：

Yoon, James Hye Suk (2006) "The Distribution of Subject Properties in Multiple Subject Constructions," abstract submitted to the 16th Japanese/Korean Conference, October 7-9, 2006, Kyoto University, Japan.

問 2-1.

この講演の主旨を 4～10 行程度の日本語で説明しなさい。

問 2-2.

ここで取り上げられている構文の日本語の例をいくつかあげ、その分析について思うところを自由に述べなさい。